

自己点検・自己評価報告書

2020年3月31日現在

学校法人西田学園 アルファ医療福祉専門学校

2020年3月31日作成

評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	④	3	2	1
理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	④	3	2	1
社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4	③	2	1

①課題

創立20周年を迎え、学校のロゴマークを変更し、次の10年に向けた将来構想や「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」「アドミッション・ポリシー」を策定しているが、学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想等が十分に周知されているとは言えない。

②今後の改善策

将来構想・3つのポリシーについては、学生・保護者等に配布物、インターネット等による周知の機会を設けていく。

(2)学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
理念に沿った運営方針を定めているか	④	3	2	1
理念等を達成するための事業計画を定めているか	④	3	2	1
設置法人は組織運営を適切に行っているか	④	3	2	1
学校運営のための組織を整備しているか	④	3	2	1
人事、給与に関する制度を整備しているか	④	3	2	1
意思決定システムを整備しているか	④	3	2	1
情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4	③	2	1

①課題

教務システムを十分に活用できていないので、生徒情報等の管理のために活用を強化していく

②今後の改善策

情報システムの効率化については、十分とは言えず、令和2年度も引き続きおこなっていく。

(3)教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
理念等に沿った教育課程の編成方針・実施方針を定めているか	④	3	2	1
学科ごとの修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	④	3	2	1
教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	④	3	2	1
教育課程について、外部の意見を反映しているか	④	3	2	1
キャリア教育を実施しているか	④	3	2	1
授業評価を実施しているか	④	3	2	1
成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④	3	2	1
作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④	3	2	1
目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	④	3	2	1
資格・免許取得の指導体制はあるか	④	3	2	1
資格・要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
教員の資質向上への取組みを行っているか	4	③	2	1
教員の組織体制を整備しているか	④	3	2	1

①課題

教職員の資質向上を図るため、校内での研修及び外部機関での研修を実施しているが、一層の質の向上を図るためには、実施回数や方法等の検討をする必要がある。

②今後の改善策

教員の研修では、特に専門領域の知識・技術の習得について、強化していく必要がある。

(4)学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格・免許取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
卒業生の社会的評価を把握しているか	4	③	2	1

①課題

卒業生の実態把握については課題がある。同窓会だけに頼らず、卒業生との関係構築について、新たな施策が必要である。

②今後の改善策

卒業生はキャリア支援課で卒業生の実態把握に努めているが、学科によって差がある。卒業後の評価のあり方の仕組みを検討していく。

(5)学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	②	1
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
留学生に対する相談体制を整備しているか	4	3	2	①
学生に対する経済的な側面に対する支援体制を整備しているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	4	3	②	1
課外活動に対する支援体制は行われているか	4	3	②	1
保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	3	②	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1

①課題

令和元年度の退学者数は前年に比べて低減しておらず、退学者を低減させるためにさらなる強化策が必要である。
留学生の在籍がほとんどないため、留学生の相談体制は今後の検討課題である。

②今後の改善策

退学者数については、前年度より増加となった。退学理由の分析を行い、学校の教育活動の改善を行うとともに、クラス担任やスクールカウンセラーにおける個々の学生の指導体制を強化していく。
職業実践的な教育内容を充実させるために外部機関との連携を強化していく。

(6)教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	③	2	1
学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する組織体制を整備し、適切に運営しているか	4	③	2	1
学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	④	3	2	1

①課題

防災計画の見直しを図り、防災マニュアル・避難訓練の実施計画を修正をおこなう必要がある。

②今後の改善策

避難訓練方法を見直し、実施内容・回数等を再検討する。また、災害時の緊急用の備蓄品等を十分整えてあるが、自然環境や社会状況を常に考慮し、安全を最優先に臨機応変に対応する。

(7)学生の募集と受入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	④	3	2	1
学生募集活動を適正かつ効果的に行っているか	④	3	2	1
入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	④	3	2	1
入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4	③	2	1
経費内容に対応し、学納金を算定しているか	④	3	2	1
入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	④	3	2	1

①課題

入学選考結果を入学後の学力判断資料とし、学科会議等で情報共有し、学生指導に反映しているが、基礎学力の低い学生への指導に十分に結びつけられていない。

②今後の改善策

基礎学力の低い学生への指導を入学前から実施するなど、新たな施策を検討していく。

(8)財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	④	3	2	1
学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	④	3	2	1
教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	④	3	2	1
予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	④	3	2	1
私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施している	④	3	2	1
私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4	③	2	1

①課題

財務基盤の安定化には、安定した入学者を確保し、かつ、退学者の抑制を図ることが最重要課題である。加えて、経費の見直しや効率化による経費削減に努めていく必要がある。

②今後の改善策

中長期的には財政基盤は安定しているが、経費削減のために予算配分を見直しをおこなう。収入は通学制の学生募集だけではなく、付帯事業等での収入を増やすことで改善を図っていく。

(9)法令等の遵守

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	④	3	2	1
学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	④	3	2	1
自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3	4	③	2	1
自己評価結果を公開しているか	3	4	③	2	1
学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3	4	③	2	1
学校関係者評価結果を公表しているか	3	4	③	2	1
教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	④	3	2	1

①課題

教育情報の公開は一定の水準で実施できているが、第三者評価制度の導入など外部の意見を取り入れる点に課題がある。

②今後の改善策

学校のHPIにおいて教育情報の公開を進めているが、学外への認知度が低く、広報活動を強化していく必要がある。

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1				
	2	4	3	2	1
学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2	4	3	②	1
国際交流に取り組んでいるか	1	4	3	2	①
学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	2	4	3	②	1

①課題

近隣の施設からボランティア参加の引き合いは多いが、限られた修業年限の中でボランティア参加と学業の両立が難しく、地域からの期待に応えきれしていない。

②今後の改善策

ボランティア参加は将来の就業に際しても有益であると考えているが、学校全体のボランティア参加の仕組みを検討する必要がある。